- ○実施日時/令和2年7月7日 9時34分~9時56分
- ○発言要旨

議事	発言
次第1「本市の医療体制について」	 ※ 資料に基づき、事務局から説明を行った。 【本部長】 ・モニタリング状況の評価は岡部先生からということでよろしいですか。 【健康福祉局】 ・はい、そうです。 【本部長】 ・この間、市立の川崎病院と井田病院を中心に患者さんを診ていたとおもうが、今の説明で大丈夫か。 【病院局】 ・2 週間ほど前は落ち着いており、入院患者がゼロに近い状況もあったが、先週頃からじわじわと増えだしており、入院患者数は1病院あたり10人近くとなっている。また疑似症の患者も多く入院されており、状況としてはひっ迫といった状況までは至っておらず、柔軟に対応できる状況となっている。
次第2「複合災害 への備えについ て」	 ※ 資料に基づき、事務局から説明を行った。 【本部長】 ・九州の豪雨を見てもわかる通り、いつ関東へも襲ってくるかわからない状況。このような時に避難所運営をどうするかということは、市民の皆さんが非常に関心を持つことだと思う。この本部決定をもって、市民に向けてのマニュアルはホームページに掲載すると同時に、市民の方たちにも周知をしていく。ただ、運営に当たっては、相当な配慮が必要となってくるため、その点の訓練を短期でしっかりやっていかなければいけないという危機感を持っている。ぜひ各局の職員を積極的に訓練に出していただくようにお願いをしたい。
次第3「ワンストップ型臨時経営相談会上の設置について」 次第4「本市の経済状況について」	 ※ 資料に基づき、事務局から説明を行った。 【本部長】 ・市内の経済状況を見ていただきたいが、ものすごく落ち込みが激しい。7~9月になるとさらに厳しいという状況で、雇用の動向というのが3月から急速に悪化している。おそらく6月はさらに悪化しているというのがほぼ間違いない。相当厳しい雇用状態となっているので、どうやって市内経済、市民の生活を下支えするか、全力で支えていくという姿勢で頑張りたい。 ・昨日市の社協との打ち合わせがあったが、民生委員が工夫をして、名前を覚えてもらう努力をし、成功している事例を聞いた。市内約4万事業所のうち、9人以下のところが約3万事業所とのことなので、圧倒的に小さい。そういった人々が、こういった支援メニューを本当に活用できているのか、知らされているかということに思いを巡らせて、どうやったら、その情報にリーチできるか、各職場で知恵を絞ってやっていただきたい。

その他	【本部長】
	・感染状況は前週に比べて確実に増えている。今の状況で特段新しいこととい
	うことよりも、とにかくこれまで繰り返した三密を避けてということ、感染
	対策が施されていないところには近づかないということを、いい形で市民
	の方たちに伝えていかなければならない。
	・コロナ情報はインターネットでも、明日あたりから少し発信しようと思って
	いるが、どういう手段であれば伝わるのかということを、いい知恵があった
	ら教えていただきたい。

以上